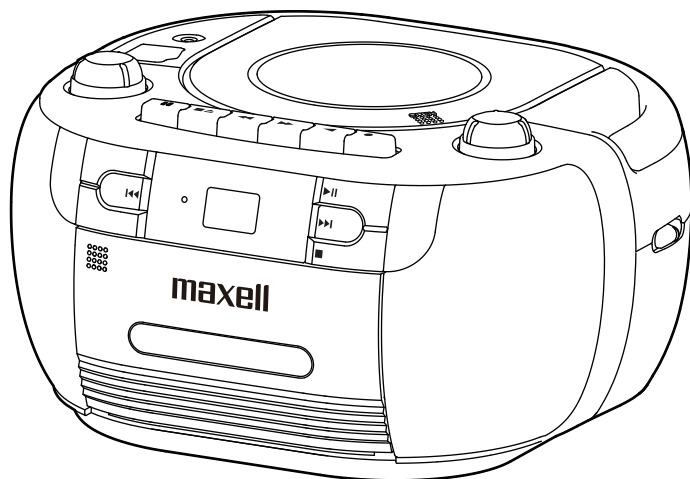


ポータブルCDラジオ カセットレコーダー MXCR-100

PA2498-10

取扱説明書

このたびはマクセル製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよく読み、製品を安全にお使いください。また、本書は保証書も兼ねていますので、大切に保管してください。

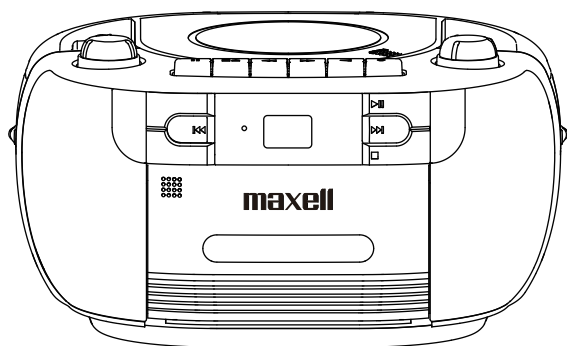


もくじ

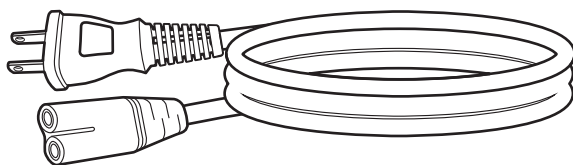
1	はじめに	3	10	USBメモリー/TF(microSD)カードを再生する ...	15
2	安全上のご注意	4	11	ラジオを聴く	17
3	CDについて	8	12	カセットテープを聴く	18
4	USBメモリー/TF(microSD)カードについて	9	13	カセットテープに録音する	20
5	カセットテープについて	10	14	お手入れのしかた	21
6	各部のなまえ	11	15	廃棄のしかた	21
7	電源について	12	16	トラブルシューティング	22
8	基本操作	13	17	仕様	24
9	CDを再生する	14	18	保証とアフターサービス	25

同梱品の確認

本体



専用ACコード



保証書付き取扱説明書
(本書)

1 はじめに

取扱説明書をお読みになるにあたって

- この取扱説明書については、将来予告なく変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写することは、個人利用を除き禁止されています。また無断転載は固くお断りします。

免責事項 (保証内容については保証書面をご参照ください)

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証、黙示の保証を含め、一切保証しません。
- 本製品の不具合により再生・録音ができなかった場合や、録音した内容が破損・消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償および、それに付随するあらゆる損害について、弊社は一切責任を負いません。また、いかなる場合においても、弊社にて録音内容の修復や複製、復元などは致しません。
- 本製品はすべてのUSBメモリー/TF(microSD)カードに記録されているオーディオファイルの再生を保証するものではありません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送用機器など人命に係わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されていません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故、火災事故などが発生した場合、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内仕様です。日本国外での使用に関し、弊社は一切責任を負いません。

著作権について

- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録音についてお願い

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音機能のチェック・ためし録りをしてください。

2 安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください。

	警告 使用者が死亡または重傷 ^{※1} を負うことが想定される内容を示します。
	注意 使用者が軽傷 ^{※2} を負うことが想定されるか、または物的損害 ^{※3} の発生が想定される内容を示します。

※1:重傷とは、失明、けが、やけど(高温・低温・化学)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などを指します。

※3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大被害を指します。

図記号の説明		製品の取り扱いにおいて、発火、破裂、高温などに対する注意を喚起するものです。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
		製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
		製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

もし異常が起これたら

 警告	
 指示	● 異常・故障時には、すぐに使用を中止し、ACコードを抜く (あるいは、乾電池を取り出す)
	異常・事故例 ・煙が出たり、異常なおいや音がする ・音声が出ないことがある ・ACコードが異常に熱い ・電池が液漏れしている ・電源が入らない ・内部に水や異物が入った ・ACコードが傷んでいる ・本体に変形や破損した部分がある
	火災・感電の原因となります。

ACコード・電源プラグについて

警告

指示

● 電源プラグはAC100Vコンセントに根元までさし込む

● 万一の事故や故障に備えるため、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントにさし込む

● 電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリが堆積している場合は、電源プラグを抜き、ゴミやホコリをとる

● 電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く

● ACコードを取り扱うときは、次のことを守る

・ 傷つけない

・ 延長するなど加工しない

・ 加熱しない

・ 引っ張らない

・ 重いものを載せない

・ はさまない

・ 無理に曲げない

・ ねじらない

・ 束ねたまま使用しない

取り扱いを怠ると、感電や発熱による火災の原因となります。

禁止

● ぬれた手で電源プラグを抜きさししない

火災・感電の原因となります。

 注意	
 指示	● 長期間使わないときやお手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電の原因となります。
 禁止	● ACコードは付属のもの以外を使用しない ● 付属のACコードを他の機器に使用しない 火災・感電の原因となります。

ご使用について

 警告	
 指示	● 持ち運ぶときは、FMアンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く ● 落としたり、強い衝撃を与えて本体を破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 取り扱いを怠ると、火災・感電・けがの原因となります。

 禁止	●分解・修理・改造はしない ●CD挿入部に手を入れない ●雷が鳴りだしたら、FMアンテナ・ACコードに触れない ●壁に押しつけない(背面3cm、左右側面5cm以上の間隔をあける) ●異物を入れない ●通風孔をふさがない
	・押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込んで使用しない ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けて使用しない ・じゅうたんや布団の上に置かない ・あお向け・横倒し・逆さまにしない
	火災・感電・事故の原因となります。

⚠ 注意

 禁止	●花瓶など液体が入ったものを本製品の上に置かない ●CDやカセットの挿入口に手を入れない ●円形ディスク以外は使用しない ●CDピックアップをのぞき込まない ●本製品の上ののったり、重いものを置いたりしない ●長時間音がひずんだ状態で使わない ●ヘッドホンの音量を上げすぎない
	けが・故障・火災などの原因となります。

設置について

⚠ 警告

 禁止	●次のような場所には置かない、使用しない ・雨天時の屋外や浴室など、水がかかったり、湿気の多い場所 ・雨、きりなどが直接入り込む場所・火のそば、暖房機器のそばなどの高温になる場所 ・直射日光の当たる場所、炎天下の車内・ホコリ、油煙の多い場所 ・振動の強い場所 ・腐食性ガス（亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど）の発生する場所 ・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所 ・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
	本製品の破損・火災・感電の原因となります。

お願い

- ・近くに置いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本製品のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本製品をテレビから離してご使用ください

乾電池について

警告



指示

- 電池交換には同一または同タイプのものだけを使用する

電池が正しく交換されていないと、爆発して、漏液・火災・感電・けがの原因となります。

注意



指示

- 乾電池を取り扱うときは、次のことを守る

- ・ 指定以外の乾電池を使わない
- ・ 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- ・ 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
- ・ 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は使用しない
- ・ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
- ・ 本体からACコードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長期間放置しない
- ・ 水にぬらしたり、ぬれた手で触れない
- ・ 直射日光の当たる場所や火の近くなど熱源の近くに置かない
- ・ 長期間使わないときは、本製品から乾電池を取り出す

発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、もれた液に触れた時は、水でよく洗い流し医師に相談してください。機器についた場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

3 CDについて

CDをより良い音質でお楽しみいただくには取り扱いに注意し、いつでも正常に再生できるように日頃からCDをきれいな状態に保つことが必要です。CDの信号面(文字が書かれていない面)のキズやひび割れ、指紋やホコリによる汚れは音質の低下の原因となるとともに、再生不良の原因になります。

CDの取り扱い・保管について

- CDの信号面に紙やシールを貼らないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具のそばに置かないでください。
- 信号面にキズやひび割れが生じると、状態によってはCDが再生できなくなります。指紋やホコリなどの汚れはCD再生時のエラーや音質低下の原因となります。CDを取り扱う場合はキズや汚れが付かないように信号面に触れないように持ってください。
また専用ケースに入れて保管することをお勧めします。ケースに入れず重ねた状態で置いたり、斜めに立てかけて放置するとキズや、そりの原因になります。

CDの種類について

-  マークの入ったディスクを使用してください。
- 円形ディスク以外は使用しないでください。円形以外の特殊な形状(ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがや破損の原因となることがあります。
- 反射率が低いディスクは情報を読み込めない場合があります。
- コピーコントロールCDや特殊形状など規格外のディスクは再生できません。

CD-R/RWディスクについて

- 本製品は、CD-DA*フォーマットまたはMP3オーディオファイルで記録されたCD-R/RWディスク(ファイナライズされたもの)を再生することができます。ただし、ディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- 未記録のCD-R/RWディスクを入れないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあり、誤って回転中にディスクを取り出そうとすると、ディスクが傷つくことがあります。
- VCD(ビデオCD)は再生できません。
- CD-R/RWディスクはディスクテーブルのキャッチャーにしっかりとめ込んでください。正しくホールドされていない場合、ディスクにキズが付いたり故障の原因となります。
- CD-R/RWディスクが正しくセットされていない場合や読み取れないディスクが入っている場合、「Err」が表示され、再生できません。
- CD-R/RWディスクにキズ、指紋、ホコリがついていると、再生できない場合があります。一部再生できた場合でも音がとんだり、停止することがあります。
- 著作権保護付きのオーディオファイルは再生できません。
- 個人が楽しむ以外の不正コピーは著作権法上禁止されています。

*CD-DAは、Compact Disk Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている音楽収録用の規格です。

CDのお手入れについて

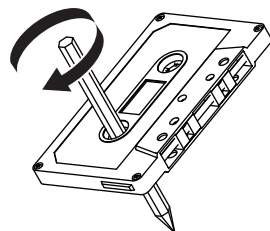
- 再生する前に、再生面についたホコリ、ゴミや指紋などを柔らかい布で中央から外側に向かって拭いてください。
- シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

4 USBメモリー/TF(microSD)カードについて

- 本製品は、USB規格に準拠したUSBメモリー(USBフラッシュドライブ)または、TF(microSD)カードに記録されたMP3オーディオファイルを再生します。
- 録音はできません。また、著作権保護付きのオーディオファイルは再生できません。
- フォーマット形式は、FAT16またはFAT32の32MBから128GBまで対応しています。容量32GBを超えるものは必ずFAT32形式でフォーマットしてご利用ください。FAT12やexFATには対応していません。
- デジタルカメラや携帯電話などの画像データが入ったUSBメモリーやTF(microSD)カードは、再生できません。
- 読み込み時の表示は、総トラック数(総ファイル数：最大999)です。オーディオファイルが無いと、「n0F」を表示します。
- USBメモリーやTF(microSD)カードを利用する場合は、それぞれの取扱説明書に従ってください。記録状態によっては再生できない場合があります。
- USBメモリーやTF(microSD)カードに触れる際は、設置された金属に触れるなど一旦身体の静電気を放出してください。データ消失や故障の原因となります。
- USBメモリーやTF(microSD)カードでの再生中に振動や衝撃を与えたり、再生中に取り出したりしないでください。データ消失や故障の原因となります。かならず電源を切ってから取り出してください。
- パソコンなど他の機器で作成／編集されたUSBメモリーやTF(microSD)カードを再生した場合、フォルダー構成が変わることがあります。
- そりなど変形したUSBメモリーやTF(microSD)カードは、接続不良が発生したり、取り出せなくなるので使わないでください。
- USBメモリーやTF(microSD)カードは直射日光の当たる場所で使用しないでください。データ消失や故障の原因となります。
- USBメモリーやTF(microSD)カードをぶつけたり、落としたり踏みつけたりなど強い衝撃を与えないでください。
- USBメモリーやTF(microSD)カードのフォーマットが必要な場合は、それぞれ専用のソフトウェアで行ってください。
- 規格団体USB-IFまたはSDAに認定されていないUSBメモリーやTF/microSDカードについては、読み込まなかったり、再生できなかったりすることがあります。

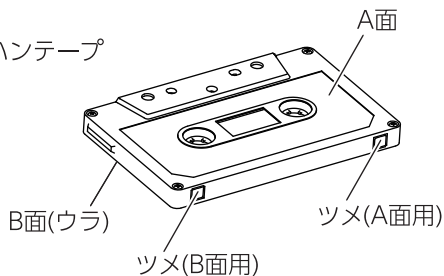
5 カセットテープについて

- ノーマルポジション(TYPE1)テープをご使用ください。
- クロームポジション(TYPE2)やメタルポジション(TYPE4)テープには対応していません。また、インドレステープは使用できません。
- 90分以上のテープはたいへん薄く伸びやすいため、メカに巻き込まれるおそれがありますので、使用しないでください。
- 操作をする前に、次のことを確認してください。
 - ・ テープがメカに巻き込まれるのを防ぐためカセット挿入部に入れる前に指や鉛筆などでたるみを巻き取るか、カセット挿入部に入れた後、再生を始める前に数秒間早送りまたは巻戻しをおこなってください。
 - ・ カセットテープ内部でテープがたるんでいる場合もありますので、必ずたるみをとってから再生してください。テープが正しい位置を通らず動作不良を起こすおそれがあります。
- 録音／再生／早送り／巻戻し動作中は必ず停止ボタンで停止状態にしてから操作を行ってください。電源を切る、ファンクションを切り替える際も一度停止状態にしてから切り替えてください。故障の原因になります。
- 再生時の雑音が多い／音質が良くないなどの症状が出たら市販の綿棒などで再生／録音ヘッドを清掃してください。
- カビなどが付着したテープや劣化した古いテープは使用しないでください。ヘッドを劣化させ再生できなくなったり故障の原因となります。



大切な録音を消さないために

- カセットテープの底面にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。
- 誤ってツメを折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで誤消去防止穴をふさいでください。
- 次のような場所には保管しないでください。
 - ・ ホコリの多いところ
 - ・ 磁気の発生するところ
 - ・ 高温や湿気の多いところ

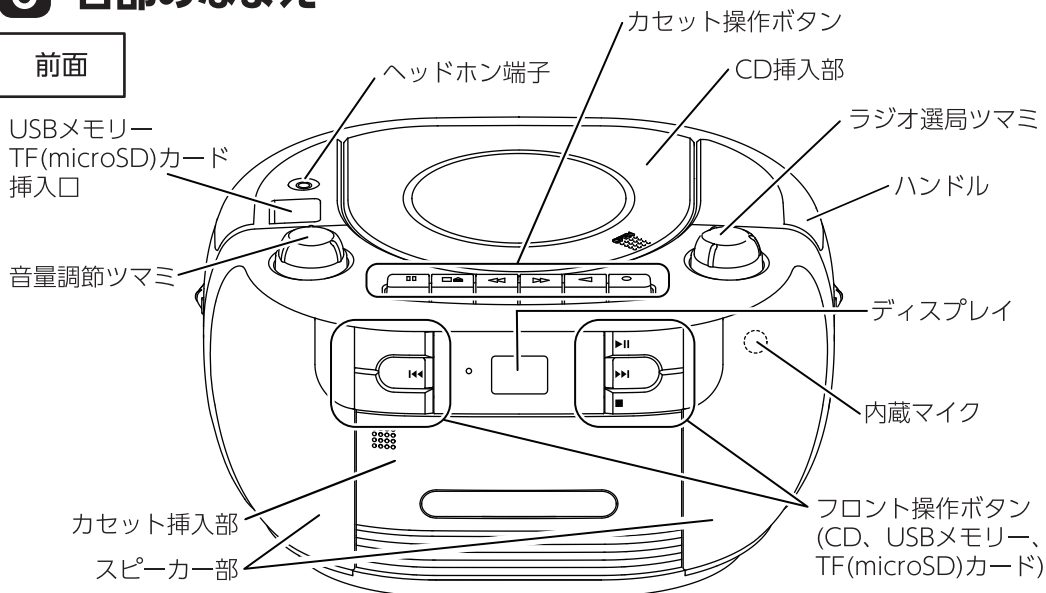


再生時のノイズについて

- カセットテープの再生では、機械式であるカセットレコーダーの構造そのものに起因する動作音や、テープ走行時のヘッドとテープの物理的接触によって発生するヒスノイズ、周辺機器などからの電磁波をヘッドが拾うことによって引き起こされる誘導ノイズなど様々な原因によるノイズが発生することがあります。これらはカセットテープ特有のものであり故障ではありません。

6 各部のなまえ

前面



左側面

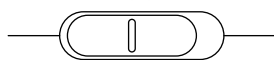
ファンクション
スイッチ



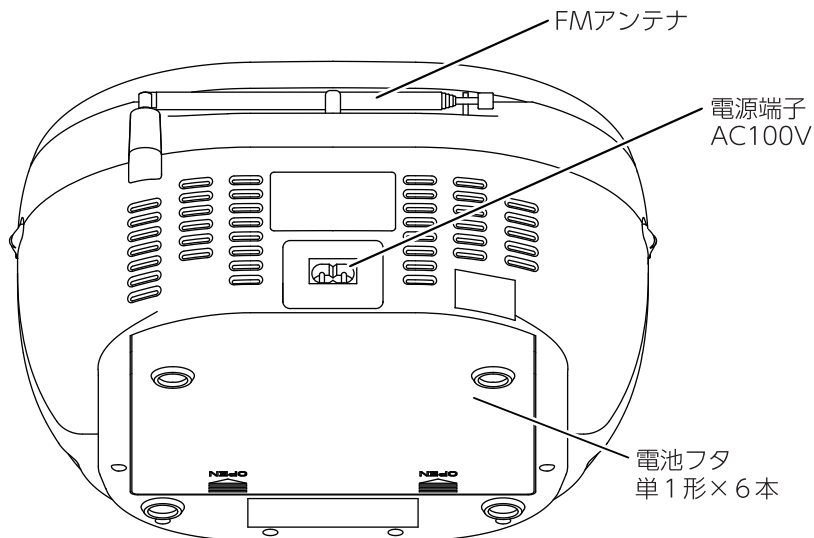
右側面

ラジオ
スイッチ

ラジオ
FM AM



背面

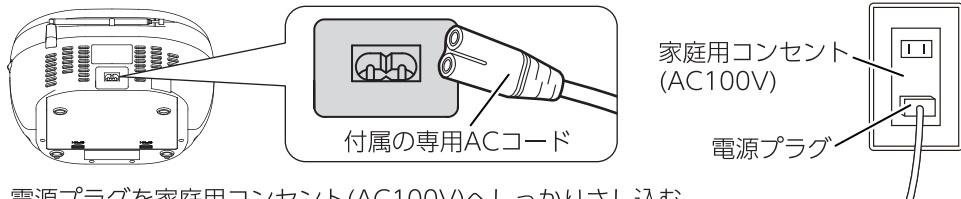


7 電源について

本製品は家庭用コンセント(AC100V)または、乾電池(単1形6本：別売)で使うことができます。

家庭用コンセント(AC100V)で使用する場合

1. 付属の専用ACコードのプラグを背面の電源端子(AC100V)の奥までしっかりさし込む。
プラグが途中までしか入っていないと、プラグが抜けやすく、電源が入らないことがあります。必ず奥までしっかりさし込んでください。



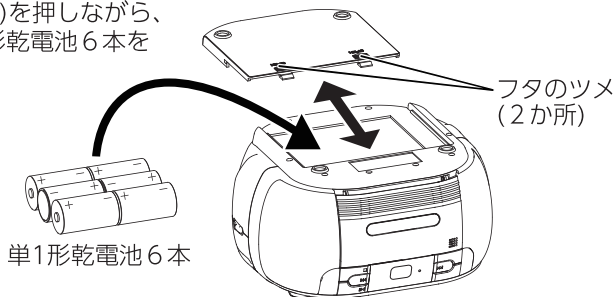
2. 電源プラグを家庭用コンセント(AC100V)へしっかりさし込む。

ご注意

- ・電源プラグを抜くときは、ファンクションスイッチが「テープ/電源切」の位置で、カセットが停止状態であることを確認してください。
- ・電源を切った状態でも、電源プラグをコンセントにさし込んでいると、わずかですが電力が消費されます。長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

乾電池(単1形×6本)で使用する場合

本体底面の電池フタのツメ(2か所)を押しながら、スライドさせて開け、別売の単1形乾電池6本を図のように入れ、フタを閉める。



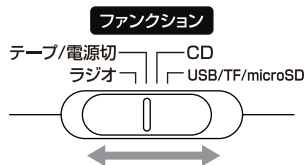
ご注意

- ・極性(⊕と⊖)を間違えないようにしてください。。
- ・ACコードが接続されているときは、乾電池からは電源が供給されません。
- ・長期間(1か月)使用しない場合や家庭用コンセントで使用する場合は、乾電池を取り出しておいください。
- ・音が小さくなる、音がひずむ、音がとぶ、テープの再生速度が遅くなる、テープの巻戻しや早送りが遅くなる、CDやテープが正常に動作しないなどの現象が生じたときは、乾電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

8 基本操作

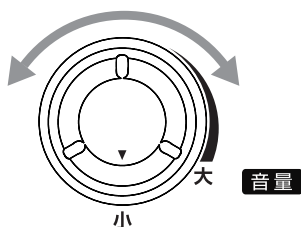
機能を選択する

左側面のファンクションスイッチを操作して、ラジオ、テープ、CD、USB/TF/microSDのいずれかを選択します。



音量を調節する

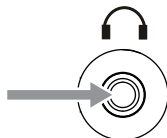
天面左側の音量調節ツマミをまわして音量を調節します。



ヘッドホン(別売)で聴く

ヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を天面左側のヘッドホン端子に接続します。

・ヘッドホンを接続すると、スピーカーからは音が出ません。



電源を切る

左側面のファンクションスイッチを操作して「テープ/電源切」の位置に設定します。

・液晶表示が消え、電源が切れます。

・テープ録音/再生中の場合は、「停止/取出し(■▲)」を押します。



9 CDを再生する

本製品で再生できるCDについては、8ページを参照してください。

1. ファンクションスイッチを「CD」に設定する

- 電源が入り、ディスプレイ部に「Cd」を点滅表示します。
- 再生可能なCDが挿入されていると、すぐに再生が開始されます。
- CDが挿入されていないと、「n0d」を表示します。

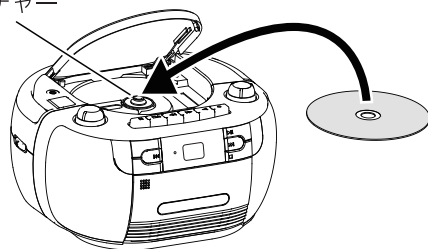


2. CD挿入部の「OPEN(開く)」と表示された部分を押ししてフタを開ける

- ディスプレイ部に「0P」を表示します。

3. CDの印刷面を上にしてディスクテーブル中心のキャッチャーにCDをしっかりとめ込む

キャッチャー



4. フタを閉める

- カチッと音がするまで確実に閉めてください。
- フタを閉めると、ディスプレイ部に「Cd」を点滅表示し、CDの読み込みをします。
- 読み込みが成功すると、トラック(曲)番号 1 から再生を開始します。
- 読み込みが失敗すると、「Err」を表示します。また、オーディオファイルが無い場合は「n0F」を表示します。
- 再生中の操作のしかたは、16ページの「フロント操作ボタンの操作のしかた」を参照してください。

お知らせ

- ディスクを読み取るときの「キュルキュル音」「シュリシュリ音」や、再生中の「ザッザッ音」「カツカツ音」などが発生する場合がありますが、読み取りヘッドの動作音であり故障ではありません。

10 USBメモリー、TF(microSD)カードを再生する

本製品で再生できるUSBメモリーやTF(microSD)カードについては、9ページを参照してください。

1. ファンクションスイッチを「USB/TF/microSD」に設定する

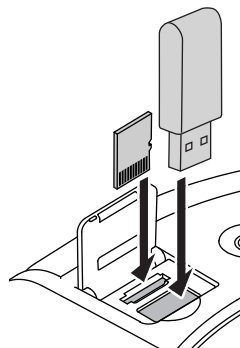
- 電源が入り、ディスプレイ部に「USB」、「n0d」を順に表示します。
- 再生可能なUSBメモリーまたはTF(microSD)カードが挿入されていると、すぐに再生が開始されます。



2. 挿入口のフタを開け、USBメモリーまたはTF(microSD)カードを挿入口にさし込む

- 奥までしっかりさし込んでください。
- ディスプレイ部に「USB」または「Sd」が表示されます。
- 読み込みが成功すると、トラック番号1から再生を開始します。
- オーディオファイルが無いと、「n0F」を表示します。

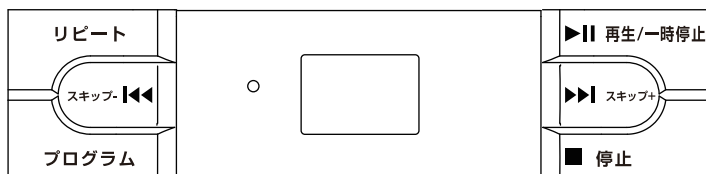
再生中の操作のしかたは、16ページの「フロント操作ボタンの操作のしかた」を参照してください。



お知らせ

- オーディオファイル数が多いと、読み込みに時間がかかることがあります。
- 両方さした場合は、あとからさしまれたほうを再生します。
- 電源を入れる前に、両方さしまれていた場合はUSBメモリーを再生します。

フロント操作ボタンの操作のしかた



再生する	「再生/一時停止(▶II)」を押す ▶マークを表示し、再生を始めます。 ・再生トラック(曲)番号を表示します。 ・1曲目から最終曲まで順番に再生し、終了すると停止します。
一時停止する	再生中に「再生/一時停止(▶II)」を押す 再生を一時停止し、再生トラック番号を点滅表示します。 ・もう一度押すと再生を開始します。
停止する	再生中に「停止(■)」を押す 再生を完全に停止し、総トラック数を表示します。
前の曲を聴く	再生中・一時停止中・停止中に「スキップ-(I◀◀)」を押す 前の曲へ戻ります。
次の曲を聴く	再生中・一時停止中・停止中に「スキップ+(▶▶I)」を押す 次の曲へ進みます。
早戻し	再生中に「スキップ-(I◀◀)」を押したままにする 押しているあいだ早戻しします。
早送り	再生中に「スキップ+(▶▶I)」を押したままにする 押しているあいだ早送りします。
繰り返し聴く	「リピート」を押す ・「↺」マークを表示し、現在表示されているトラック番号をリピート再生します。 ・もう一度押すと、「↺」マークを表示し、すべての曲をリピート再生します。 ・もう一度押すとリピート再生を解除します。
設定した順番で聴く	停止中に「プログラム」を押す ・「P01」が点滅表示されます。 ・「スキップ(I◀◀)(▶▶I)」を押してトラック番号を選び、「プログラム」を押すと1曲目が設定されます。 ・「P02」が点滅表示されます。 ・以下同様に「スキップ(I◀◀)(▶▶I)」を押してトラック番号を選び、「プログラム」を押すと2曲目が設定されます。 ・最後に「再生/一時停止(▶II)」を押すと、「PROG」マークを表示し、選択したすべての曲をリピート再生します。 ・再生中に「停止(■)」を押すと再生を停止します。 ・もう一度「停止(■)」を押すとプログラムを解除します。

11 ラジオを聴く

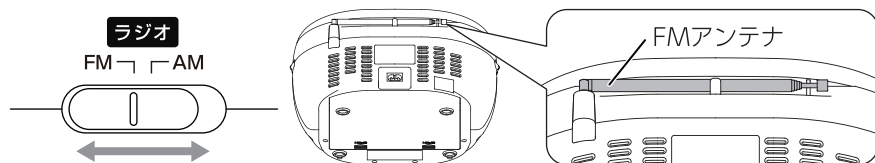
1. ファンクションスイッチを「ラジオ」に設定する

- 電源が入ります。

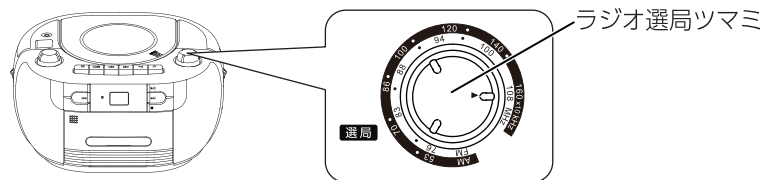


2. ラジオスイッチを操作し「FM」もしくは「AM」を選択する

- FMを選択した場合は、背面のFMアンテナを伸ばしてください。



3. ラジオ選局ツマミを廻して、ご希望の放送局を受信する

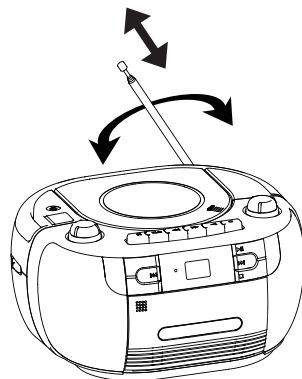


FM放送を受信する

- FMアンテナを伸ばし、最もよく聞こえる向きに向けます。
- 受信できない場合は、窓際など電波状況の良い場所に本体の置き場所を変えてみてください。

AM放送を受信する

- AMアンテナは本体に内蔵されています。本体を最もよく聞こえる向きに向けます。
- 受信できない場合は、窓際など電波状況の良い場所に本体の置き場所を変えてみてください。



ご注意

- FMアンテナを取り扱うときはていねいに扱い、無理に曲げたり、収納したりしないでください。FMアンテナが破損するおそれがあります。

12 カセットテープを聴く

1. ファンクションスイッチを「テープ/電源切」に設定する

- 電源が切れます。

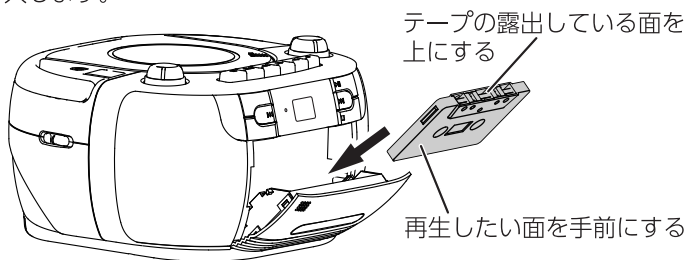


2. カセット操作ボタンの「停止/取出し(■▲)」を押してカセット挿入部のフタを開ける



3. テープにたるみがないことを確認して、カセットテープを入れる

- 再生したい面を手前、テープの露出している面を上にして、フタの内側のガイドに沿ってカセットテープを挿入します。



4. カセット挿入部のフタを閉じる

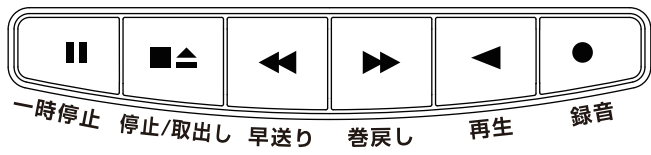
- カチッという音がするまで確実に閉じてください。

5. 「再生(◀)」を押す

- 電源が入り、再生を始めます。
- 再生中にテープがすべて巻き取られると、自動停止します。



カセット操作ボタンの操作のしかた



再生する	「再生(◀)」を押す カセットテープの再生を始めます。
一時停止する	再生中に「一時停止()」を押す 再生を一時停止します。 ・もう一度押すと再生を開始します。
停止する	再生中に「停止/取出し(■▲)」を押す 再生を完全に停止します。
早送りをする	再生中に「早送り(◀◀)」を押す
巻戻しをする	再生中に「巻戻し(▶▶)」を押す

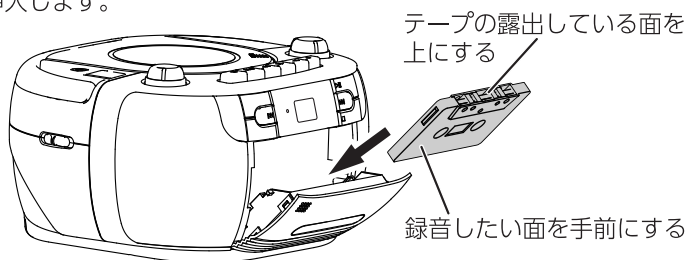
13 カセットテープに録音する

1. カセット操作ボタンの「停止/取出し(■△)」ボタンを押してカセット挿入部のフタを開ける



2. テープにたるみが無いことを確認して、カセットテープを入れる

- 録音したい面を手前、テープの露出している面を上にして、フタの内側のガイドに沿ってカセットテープを挿入します。



3. カセット挿入部のフタを閉じる

- カチッという音がするまで確実に閉じてください。

4. ファンクションスイッチを操作し録音したいソースを選択する

- CD、USBメモリー、TF(microSD)カードを再生、または、ラジオを受信します。
- 内蔵マイクで録音するときは、「テープ/電源切」を選択します。

5. カセット操作ボタンの「録音(●)」を押す

- 録音が始まります。
- 録音中にテープがすべて巻き取られると、自動停止します。



6. 録音中に「停止/取出し(■△)」を押す

- 録音が停止します。

ご注意

- テープ両端にはリーダーテープという録音できない部分があります。録音時の頭切れにご注意ください。
- カセットの誤消去防止ツメが折れていると、「録音(●)」は押せませんのでご注意ください。

14 お手入れのしかた

お手入れの時は、本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体のお手入れ

本体のよごれは、水でうすめた中性洗剤を含ませた布で落とし、柔らかい乾いた布でふき取ってください。

ご注意

- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどは使わないでください。また、殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

CDピックアップ(レンズ)部

- ホコリなどは、市販のブロワーでレンズを2、3回吹き、ブラシの先でホコリを掃き出します。
- 指紋などレンズについたよごれは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽くふいてください。

テープ挿入部

- 市販のクリーニングキット(またはクリーニングテープ)をご使用ください。
- 市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを含ませ、テープがふれる面を軽くふいてください。

15 廃棄のしかた

本製品は、小型家電リサイクル法の対象品目です。

小型家電のリサイクルにご協力をお願いします。

お住まいの地域によって回収品目、回収方法が異なるため、ご使用済み製品の廃棄に際しては、お住まいの市区町村の回収方法にしたがってください。

- 本体に入れた乾電池(単1形×6本)は、取りはずしてセロハンテープなどで電池の端子部を絶縁してから、お住まいの地区(市区町村)の廃棄方法にしたがって廃棄してください。

16 トラブルシューティング(故障かな?と思ったら)

下記「対処の方法」で解決しない場合は、お買い上げの販売店または当社「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。

症状	原因	対処の方法
電源が入らない	電源プラグが本体の電源端子「～AC IN」からはずれている	プラグを、奥まで確実にさし込む
	コンセントに電源プラグが入っていない	コンセントに確実にさし込む
	電池極性間違い(乾電池使用時)	電池を正しく入れる
	電池が消耗している(乾電池使用時)	すべて新しい電池に交換する
音が出ない	音量レベルが下がっている	音量を調節する
	ヘッドホンがさし込まれている	ヘッドホンをはずす

CD部

音が出ない	CDが裏返しになっている	印刷面を上にして挿入する
	CDがよごれている	CDを清掃する/CDをとりかえる
	ピックアップレンズがよごれている	レンズ部を清掃する
音がとび	CDに大きなキズやソリがある	CDをとりかえる
	振動する場所に設置している	振動のない場所に設置する
	ピックアップレンズがよごれている	レンズ部を清掃する

USBメモリー/TF(microSD)カード部

USBメモリーが さし込めない	向きが逆になっている	コネクタの向きを確認してさし込んでください
TF(microSD)カード がさし込めない	表裏が逆になっている	端子面が内側(USB側)になるようにさし込んでください
	カードが曲がっている	カードを交換してください
再生がはじまらない	奥まで挿入されていない	奥までしっかりとさし込んでください
	ファイルが入っていない ファイル形式が違う	MP3形式のファイルがあることを確認して下さい
	フォーマット形式が違う	FAT16またはFAT32であることを確認して下さい

ラジオ部

症状	原因	対処の方法
雑音が多く聴きづらい	電源雑音の影響を受けている	別のコンセントにさし換えてみる
	モーター、蛍光灯などの電気器具、Wi-Fi/Bluetoothなどの無線機器による雑音の影響を受けている	本製品を雑音源から離す
	ポータブル電源による雑音の影響を受けている	家庭用コンセントまたは乾電池で使う
	電波が弱い	アンテナを調節する／本体の設置場所を変える

カセット部

カセットが入らない フタが閉まらない	カセットの向きが上下逆になっている	テープが見えている面を上にして挿入する
	カセットが正しく入っていない	カセットを正しく挿入する
テープが走行しない	カセットの不良	カセットをとりかえる
	テープがすべて巻き取られている	カセットのA／B面を入れ替える
音がとぎれる、音程が狂う、消去が不完全	乾電池が消耗している	新しい乾電池に交換する
	古いカセットテープを使っている	新しいカセットテープと取り換える
録音ボタンが押せない	誤消去防止ツメが折れたカセットを使用している	カセットをとりかえる 録音しなおす時は、セロハンテープで誤消去防止穴をふさぐ

17 仕様

CD部

チャンネル数	ステレオ 2チャンネル
サンプリング周波数	44.1kHz
メディア	CD、CD-R/RW
フォーマット形式	CD-DAフォーマットまたはMP3オーディオファイルが記録された音楽ディスクでファイナライズ済みのもの

USBメモリー/TF(microSD)カード部

対応メモリー	USBメモリー (USB-A 32MB～128GB / FAT16またはFAT32フォーマット) TF(microSD)カード (32MB～128GB / FAT16またはFAT32フォーマット)
ファイル形式	MP3オーディオファイル(MPEG-1 Audio Layer 3(～320kbps))

ラジオ部

対応周波数	AM 530-1600kHz FM 76-108MHz
-------	--------------------------------

カセット部

トラック方式	4トラック 2チャンネル
録音方式	ACバイアス録音
早送り・巻戻し時間	約2分30秒(C60)
推奨テープ	ノーマルポジションTYPEI C60

共通部

電源	AC100V 50/60Hz または 乾電池 単1形(R20またはLR20)×6本
消費電力(最大)	12W
スピーカー部	φ77mm コーン型 6Ω×2
実用最大出力	2W+2W
ヘッドホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック
本体サイズ	W260×D219×H139mm
本体質量	約2kg(乾電池、ACコード含まず)
付属品	専用ACコード(長さ約1.5m)

動作時間の目安

再生方法	動作時間 (マクセル製アルカリ乾電池 ボルテージLR20(T)、中音量のとき)
CD-DA/R/RW	約37時間
USB/TF(microSD)	約55時間
ラジオ(AM/FM)	約62時間
カセット	約55時間

動作時間は目安です。内容や音量によって変動します。
仕様および外観は製品改良のため予告なく変更する場合があります。

18 保証とアフターサービス

保証書

保証書はよくお読みの上で、購入証明書（レシートなど）と共に大切に保管してください。
保証期間はご購入日から 1 年間です。

本製品に関するお問い合わせ先

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

株式会社電響社

マクセル製品 お客様ご相談センター

TEL.(0570)783-137(ナビダイヤル) | FAX.(0570)025-710(ナビダイヤル)

<https://www.maxell.co.jp>

マクセルお問い合わせ

検索

MEMO